

ハ一七二一

♪ 2025/01/17 第12号

1. 17 阪神・淡路大震災 30年

●阪神・淡路大震災発生から30年を迎えました。皆さんが生まれる前に起こった未曾有の大地震です。多くの尊い命が犠牲になりました。皆さんもおうちの人や学校で震災についてや、防災教育について学んできたことと思います。今回は魚住まちづくり協議会から川島幸夫さんにお越しいただいて、当時のお話をさせていただきました。



●『当時私は2Fに家内と、1Fに清水高校の長男、東中の次男、魚小の長女が寝ていました。まだ真っ暗な5時46分、突然どーんと突き上げられて目が覚めました。…明るくなるにつれ神戸の周辺の被害の大きさに驚きました。特に高速道路やビルの倒壊、大火事などです。当時、私は仕事で大阪に行っていましたが、約一週間は動けず、それから北六甲から大阪へ移動し、半年間は家には帰れず寮生活をしました。…ここで皆さんにお願いがあります。南海トラフ地震は近い将来間違い無く来ます。最近は能登を含め、大きな地震が頻発しています。残念ながら今の科学では地震は100パーセント予知することはできません。できることは過去の災害や新しい科学の知識をもち、少しでも被害を減らすために想像を働かせて備えることだと思います。皆さんにはその力があると思います。知識と体験を重ね、自分、家族、そして地域のために一緒にがんばりましょう。』